

データベースの使い方

こども向けパスファインダー



パスファインダーってなに？

調べものをするときに役立つ本や調べ方を紹介する「道しるべ」だよ。

① 「データベース」ってなんだろう？

「データベース」とは、ある特定の条件に当てはまる情報（データ）をたくさん集め、使いやすい形に整理して、簡単に調べることができるようにしたものです。

主にコンピューターで利用できるようにしたものを言いますが、紙の電話帳などもデータベースの仲間です。

インターネットには載っていない情報も調べることができ、また情報の正しさも保証されています。

豊田中央図書館でデータベースを使うには

データベースを利用できるパソコンは、4階総合案内横にあります。利用したい時は、4階総合案内で利用申請書を書いてください。また、調べたい情報を印刷したい時は、複写申請書を書く必要があります。印刷は白黒のみで、料金は1枚10円（両面印刷の場合は20円）です。

② 中日新聞・東京新聞記事データベース

何を調べられる？

1987年（昭和62年）以降の中日新聞と、1997年（平成9年）以降の東京新聞の記事を調べることができます。

特徴は？

豊田市や愛知県など、地元に関する記事のページ（地方版）も収録されており、地域について調べるのに適しています。ただし、一部収録されていない地域もあります。

文章のみの形式と、新聞を切り抜いた形の2種類から見方を選べます。ただし、新聞切り抜き形式の無い記事もあります。

③ ヨミダス歴史館

何を調べられる？

読売新聞の記事を、1874年（明治7年）の創刊号から調べることができます。

特徴は？

『中日新聞・東京新聞記事データベース』には収録されていない、昔の新聞記事を調べるのに適しています。

明治・大正時代の記事も現代の言葉で調べることができ、元の新聞そのままの画像で読むことができます。

ただし、地方版はありません。

④ブリタニカ・オンライン・ジャパン

何を調べられる？

『ブリタニカ国際大百科事典』をデータベースにしたもので、常に最新版の情報を調べることができます。

特徴は？

『小項目事典』『大項目事典』『国際年鑑』の3つの事典からまとめて検索することができるほか、テーマ別にまとめたメニューもあります。項目名のよみや外国語の綴りでも調べることができるほか、英語版に切り替えることもできます。写真や音声などのコンテンツも利用できます。

⑤国立国会図書館デジタルコレクション

何を調べられる？

本や雑誌、古典籍（日本や中国などの古い本）など、国立国会図書館がデジタル化したもののうち約200万点を調べることができます。

特徴は？

絶版（それ以上同じ本を作らなくなる）などにより手に入れるのが難しい資料を、画像データ（開いたページの写真）として見ることができます。キーワード検索のほか、コレクション（資料の種類）やテーマごとでも検索することができます。

利用・印刷する時は、専用の申請書にご記入ください。

ほか

⑥他にもこんなデータベースがあるよ



○E L NET

インターネット
新聞・雑誌・ニュースサイトなどを、まとめて調べることができます。「見出し」の検索に制限はありませんが、本文を読むことができるのは一人1件までです。本文を読むときは4階総合案内へお越しください。

○第一法規 法情報総合データベース

現行法（今、使われている法律）や判例、法学関連の本や論文を調べることができます。

○官報情報検索サービス

1947年5月3日～最新の官報（政府からのお知らせ）を調べることができます。

○医中誌Web

医学・看護・薬学などの雑誌記事・論文・学会議事録・抄録（論文などの重要な部分を抜き出してまとめたもの）などを調べることができます。

⑦データベース利用にあたっての大事なお願い



- データベースの利用を終了する時は、必ず「ログアウト」をしてください。
- パソコンは1台しかありませんので、譲り合ってください。
- 何か問題があった場合は、すみやかに4階総合案内へお申し出ください。

とよたしちゅうおうとしょかん
豊田中央図書館

〒471-0025 豊田市西町1-200

TEL : (0565) 32-0717

【開館時間】午前10時から午後8時まで

かくこうりゅうかん としよしつ
各交流館・コミュニティセンター図書館

【開館時間】午前9時から午後8時まで

※館によって、開館時間が異なることがあります

とよたし としよしつ
豊田市子ども図書館

【開館時間】午前10時から午後4時まで